

SOX 療法(胃がん) + Nivolumab

S-1(エスワン)+L-OHP(オキサリプラチン)+Nivolumab(ニボルマブ)

【適応】

進行・再発胃がん

【投与スケジュール】

| | Day1 | | Day15 | | Day21 |
|--|------|--|-------|--|-------|
| S-1 80mg/m ² ※ 分 2 | | | | | |
| L-OHP 130mg/m ² 2 時間かけて | | | | | |
| Nivolumab 360mg/body 30 分以上かけて | | | | | |

S-1 は Day1 の夕から服用開始し、14 日間服用する (Day15 の朝まで)。1 週間休薬。

3 週を 1 コースとする。

※S-1 投与量

| 体表面積 | 投与量 |
|--|--------|
| 1. 25 m ² 未満 | 40mg/回 |
| 1. 25 m ² 以上 1. 5 m ² 未満 | 50mg/回 |
| 1. 5 m ² 以上 | 60mg/回 |

【S-1 の減量の目安】

| 初回基準量 | 40mg/回 | 50mg/回 | 60mg/回 |
|-------|--------|---------------|--------------------------|
| | 休薬 | 40mg/回 →休薬 | 50mg/回 →40mg/回 →休薬 |

【腎障害時の投与量変更例】

◎S-1

| Ccr (mL/min) | >80 | 50~80 | 30~50 | <30 |
|--------------|------|----------------------|------------------|------|
| | 減量なし | 必要に応じて 1 段階減量投与量から開始 | 1 段階以上の減量投与量から開始 | 投与不可 |

- ニボルマブ投与時、インラインフィルター(0.2又は0.22 μ m)のある点滴ルートを用いて投与すること。
- 希釈する場合、1回240mg、360mg又は480mg投与時の総液量は体重30kg以上の患者には150mL以下、体重30kg未満の患者には100mL以下となるように調製すること。
- 本剤の作用機序に基づき、過度の免疫反応による副作用があらわれることがある。これらの副作用は、対応によっては重篤または死亡に至る可能性がある。観察を十分に行い、異常が認められた場合には、発現した事象に応じた専門医と連携して適切な鑑別診断を行い、副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うことが必要。